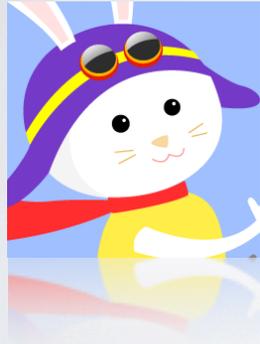


こんにちは。庄崎大祐です。今回は、PhotoshopでWeb制作をする際にクオリティを上げたり速く制作するためのテクニックを紹介します。

## 自己紹介



- @Stocker.jp
- Stocker.jp
- 渋谷Webデザインスクール

私はWeb制作者向けのブログ Stocker.jp を執筆したり、6月からは渋谷にてWebデザインスクールやWebデザイナーのためのWebプログラミングスクールを開講する予定です。

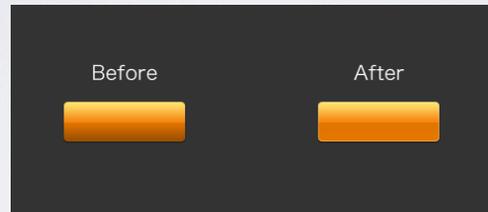
3月から開講中のWebデザインスクールのページはこちら。6月からのものについては5月ごろ掲載予定です。

<http://stocker.jp/diary/web-design-school/>



その他、Webデザイナーのためのソーシャルスクラップブックサービス Croppy を運営しています。

## 光沢感のあるボタンをリアルに見せる方法



光沢感のあるボタンなどのグラデーションは、単に下の方を暗くするより、下の方を少し明るくしたり、光彩（内側）を付けたほうがリアリティが出ます。

こちらが下の方を明るくする前のもの、こちらが明るくしたものです。

特に背景が暗い場合、ボタンの下の方を少し明るくしたほうがボタンの印象まで暗くならずすみませす。

光彩（内側）をつけるのは、角が90度にカクツとしているのではなく、丸まっている感じを出すためです。

# 破線を素早く描く方法



Photoshopで破線を描く方法はいくつかありますが、拡張なしですぐ描きたいという場合は、鉛筆ツールを使うのが最も簡単で早いのではないかと考えます。

鉛筆ツールをクリックし、ブラシパレットで「間隔」を250%にするだけで綺麗な破線が描けるようになります。

色つきの部分を長くしたいとか、サイズを指定して破線を描きたいという場合は、JSXを使うと良いです。

JSXとは、Photoshopを拡張するためのJavaScriptファイルのことです。

まず、Googleで「簡単に破線を描く」で検索し、こちらのページからJSXをダウンロードします。

<http://www.adobe.com/jp/joc/photoshop/photoshop/hihou/03/04.html>

ダウンロードしたJSXはPhotoshopインストールフォルダ内のPresets/Scripts/に入れておきます。

Photoshopを再起動すると、ファイル>スクリプト内に先ほど入れたスクリプトが表示されますので、それをクリックします。全幅、線分などを指定すると破線が引けます。

編集>キーボードショートカットを指定しておく、次回から楽です。

## ドロップシャドウにリアリティを出す



ドロップシャドウをかける際、標準の  
シャドウのカラー: 黒 不透明度: 75%

でかけている方もいらっしゃるかと思いますが、私は背景の色の明度を下げ、色相を少し青方向にシフトした色にします。その方が方が自然な影に見えませんか？

なぜ青みがかった色にするかというと、色彩検定を受けたことのある方であれば「ナチュラル配色」というものをご存知かと思います。

自然界では、葉っぱの光があたっている部分は黄みがかった色に、光が当たっていない部分は青みがかった色になるというものです。

## 紙や写真がめくれたように見える影を作る



数年前からよく見るようになった「紙や写真がめくれたように見える影」の作り方です。

ここでのポイントは、写真の部分の形は変形せず、影の部分を変形させるということです。

写真の外側がめくれたように見える影を付けたい場合は、まず写真オブジェクトに角度90°のドロップシャドウをつけます。

影の色は、今の応用で背景の色より濃く、すこし青みがかった色をつけます。

次に、メニューの「レイヤー>レイヤーのスタイル>レイヤーの作成」を選び、ドロップシャドウをレイヤーとして分離します。

次に、ドロップシャドウレイヤーを選択し Ctrl+T キーを押して「自由変形モードとワープモードの切替え」ボタンをクリックし、変形すれば出来上がりです。

## 迫力ある3Dのテキストを描く (1/2)

Before

Smartキャンペーン

After

Smartキャンペーン

キャンペーンページのタイトルやバナーなどで派手な3D文字を使いたい時、Photoshopに3D機能が付いていますが、これだけでは迫力が足りません。

そこで、私はIllustratorで3D文字を制作し、それにPhotoshopで着色することで簡単に迫力のある3D文字を制作することができます。

まず、Illustratorで上のような文字と長方形を制作し、効果>3D>押し出し・ベベルで下のようにします。

この時、3Dダイアログで「遠近感」を付けることによって、遠くにあるものがより小さく、近くにあるものがより大きく見えます。

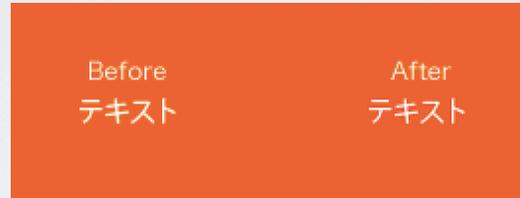
## 迫力ある3Dのテキストを描く (2/2)



そして、Illustrator でコピーし、Photoshop に「スマートオブジェクト」として貼りつけた後、新規レイヤーを作成し、自動選択ツールで文字の部分を選択し、塗りつぶしツールで適当な色で塗りつぶします。あとはレイヤースタイル>グラデーションオーバーレイやブラシなどで好きな色で塗ることができます。

滝ブラシは、Google で「Photoshop 滝ブラシ」で検索すると上位に出てきます。

## テキストをシャープに見せる



テキストのアンチエイリアスを「シャープ」にしてもいまいちテキストが見つらい時は、ドロップシャドウを背景色と同じで距離を0、サイズを2くらいでかけると文字がくっきり見えるようになります。アンシャープマスクで画像がシャープに見えるのと同じ原理です。

## 等間隔に分布させるJSX



例えば、グローバルナビゲーションを作る時、ホーム、会社情報などの文字を並べて整列させると思いますが、Illustrator や Fireworks にある「等間隔に整列」が Photoshop に無くて困ったことのある方もいらっしゃるかと思います。

そんな時は、こちらのページからリンクされている海外サイトからスクリプトをダウンロードし、

<http://blog.sakurachiro.com/2010/10/photoshopcs2-distribute-layers-horizontally/>

先程と同じく、Scripts フォルダに入れることで等間隔でグローバルナビゲーションの文字列などを整列させることができます。

Thank you.

以上です。ありがとうございました。